



主体的で対話的な学びの場「ゆめタイム」

研修主任 東山 知沙

本校では、自己実現を図るためのキーワードとして「ゆめ」を大切にしています。ペアや小集団、全体の場で交流・表現・体験活動を「ゆめタイム」と名付け、様々な学習や活動の場面で行っています。ここ数年は感染症対策のための制限の中、学年や教科に応じて学び合い活動を工夫しながら行ってきました。今年度は、体験活動や友達との関わりの形を広げながら「ゆめタイム」を行っています。子どもたちは、自分の考えを分かりやすく伝えたり、自分とは違う意見に触れたりする活動が大好きです。どの学年も「ゆめタイム」を通して楽しみながら学習を進めています。主体的で対話的な学びの場である「ゆめタイム」は、理解を深めたり、知識を高めたりするのに大切な時間です。

これからの社会を生きる子どもたちには、ふるさと湯山への誇りを胸に、自分の夢や目標に向かって、主体的に学ぶ力を身に付けて欲しいと思っています。



【ペアでのゆめタイム】



【グループでのゆめタイム】

【1学期を振り返って】

1年生	まいにち、みんなとべんきょうしたりあそんだりして、なかよくなったよ。おともだちに、てつぼうをおしえてもらって、できるようになったことがうれしかったよ。
2年生	ともだちに親切にすることをがんばりました。まわりをよく見て、たすけてあげることができました。2学きは、算数をもっとがんばりたいです。
3年生	昼休みに先生や友だちといっしょにドッジボールをして遊んだことが楽しかったです。2学きも友だちとなかよく遊びたいです。
4年生	みんなと遠足に行ったことがとても心に残りました。学習もむずかしくなってきたので、予習や復習もしっかり取り組んで、2学期もみんな楽しくすごしたいです。
5年生	大洲青少年交流の家では、カヌー、野外炊飯などたくさんの経験ができました。その中で、「仲間と協力し合う」ことの大切さを知りました。この経験を生かして頑張りたいです。
6年生	運営委員会のあいさつ運動をがんばりました。女の子が笑顔で元気にあいさつをしてくれて、私も明るい気持ちになりました。2学期もみんなのために、明るく元気にあいさつ運動を続けたいです。
ささのこ	ささのこのみんなでプールをしました。もぐることができるようになって、うれしかったです。ともだちのけのびが上手でした。夏休みにれんしゅうしたいです。